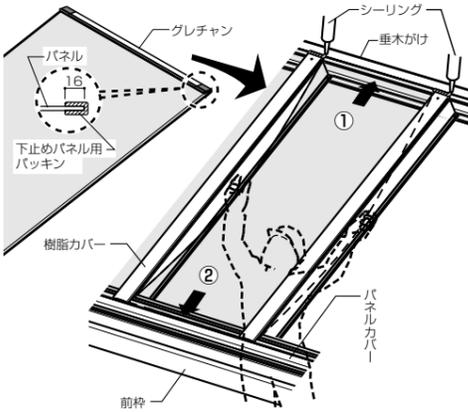
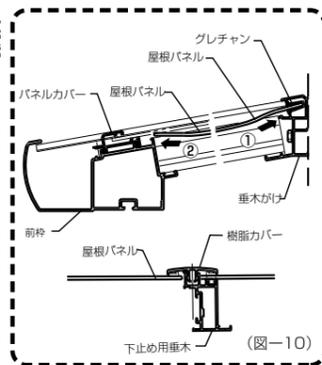


■下止め施工手順

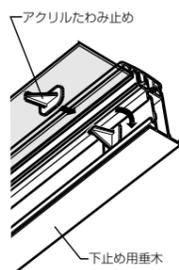
※初めに必ず右図の位置にシーリングしてください。
 ※下止めパネル用パッキンは下図の様に取付けてください。



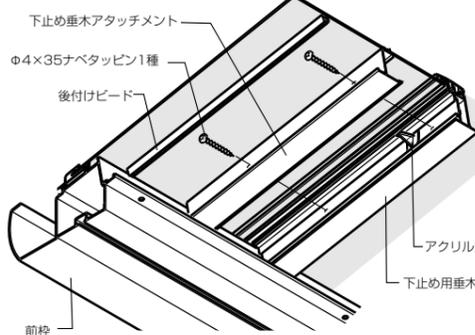
①屋根パネルにグレチャンを取り付けた後、下から重木がけを差し込みます。
 ②屋根パネルのたわみを持ち上げながら前枠のパネルカバーに押し込みます。(図-10)
 ※その際、屋根パネルの両サイド(重木側)は、樹脂カバーの下に添ってたわみを押し込んでください。



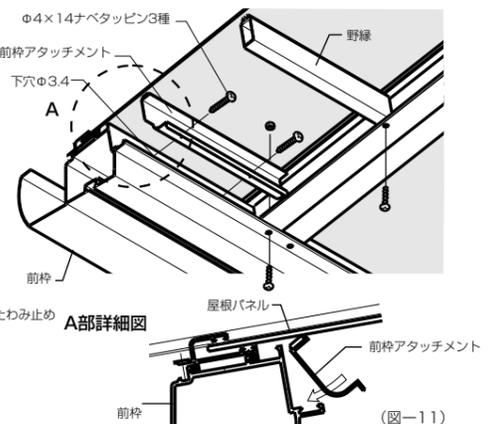
③屋根パネルが落ちないようにアクリルたわみ止めを約40cm間隔で取付けます。
 ※下止め用垂木の溝にアクリルたわみ止めを横にして差し込み、半回転ひねって取付けてください。



④アクリルたわみ止めをつけたまま、下止め垂木アタッチメントをサイドからスライドさせて、はめ込みます。
 ※完全にはめ込まれていることを確認した後、ねじ止めしてください。
 ⑤後付けビードを下止め垂木アタッチメントと屋根パネルの間に挿入します。



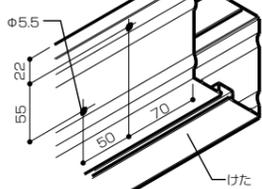
⑥野縁を屋根パネルと下止め垂木のフィンとの間で回転させてセットし、ねじ止めします。
 ⑦前枠アタッチメントを(図-11)のようにセットし、ねじ止めします。



■連結タイプの場合

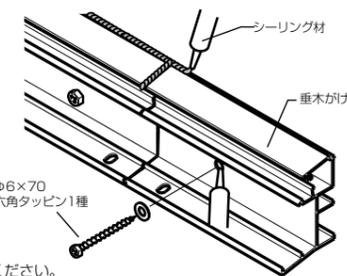
1 前枠・垂木がけ・けたの加工

①前枠・垂木がけの連結側を20mm切り詰めます。
 ②前枠の連結側のポンチ位置にφ5.5の穴をあけます。
 ③けたの連結側のポンチ位置にφ5.5の穴をあけます。(片面のみ)



2 垂木がけの取付け

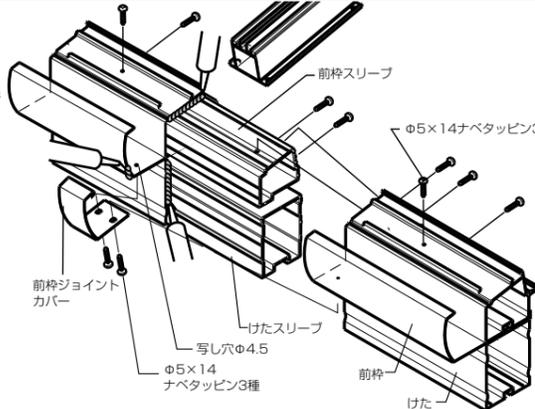
①垂木がけの躯体取付け穴(φ6.5)を、柱や間柱など躯体の構造体位置に合わせてあけ直した後、取付けてください。
 ②連結部は必ずシーリングで処理してください。



3 前枠連結部の組立て

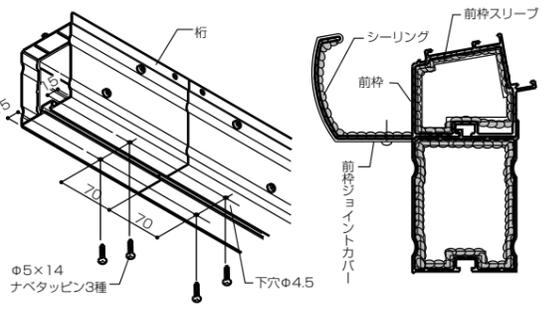
①前枠を前枠スリーブにねじ止めします。
 ②前枠ジョイントカバーをねじ止めします。

※連結部には垂木と柱が取り付けます。
 ※連結の際、柱は連結部への取付けを基本としますが、止むを得ない場合は、移動しても差し支えありません。



③桁の下図の位置に穴あけ加工した後、ねじ止めします。

※連結部には必ずシーリングで処理してください。

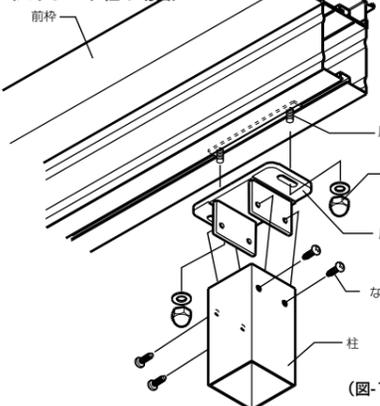


■バルコニー連結の場合

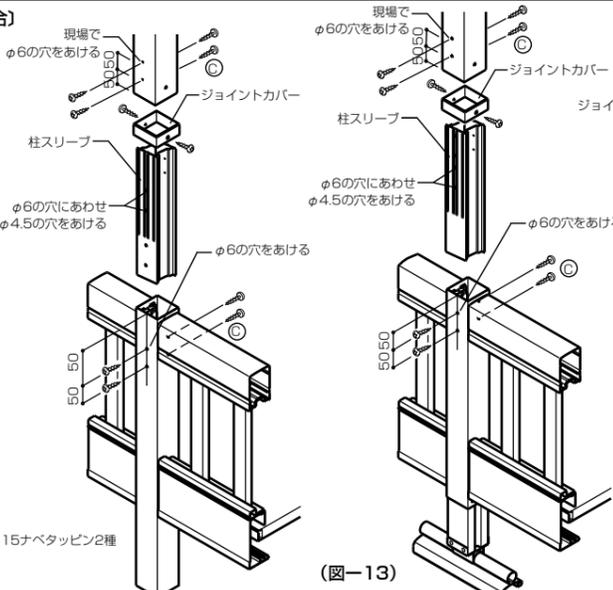
①柱の切詰め加工

●現場実測で寸法を出し、柱を切り詰めてください。
 ②前枠への取付け
 ●屋根柱固定金物を使用し(図-12)の要領で取付けてください。
 ③バルコニーとの連結(図-13)の要領に従い、柱を連結してください。

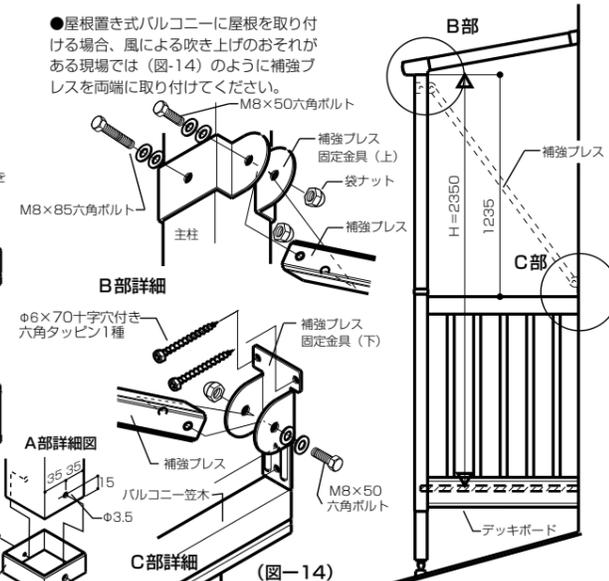
【ストレート柱の場合】



【柱建て中間柱の場合】

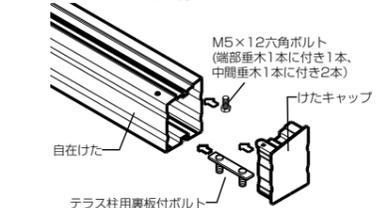


●屋根置き式バルコニーに屋根を取り付ける場合、風による吹き上げのおそれがある現場では(図-14)のように補強プレスを両端に取り付けてください。

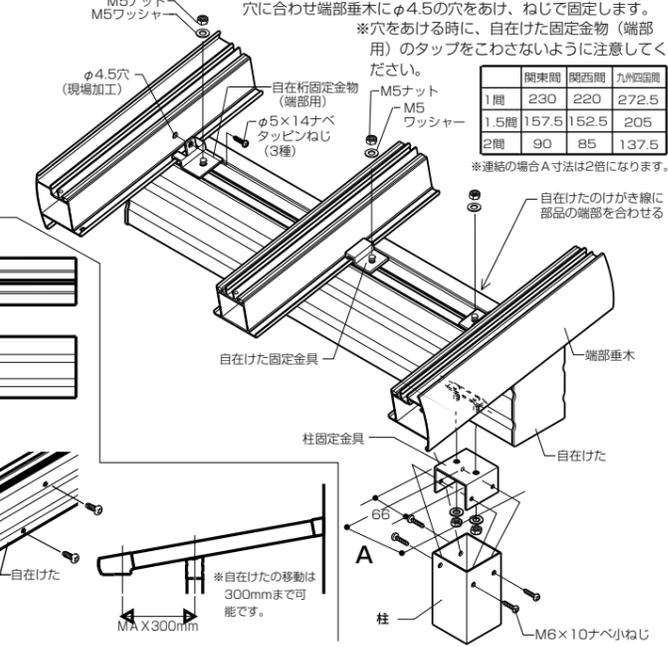


■出幅自在けたの場合

①あらかじめ自在けたの上部ボルトホールにM5ボルト、下部ボルトホールにはテラス柱用裏板付ボルトを挿入し、けたキャップを取り付けます。



②自在桁に端部垂木を取り付け、前枠を組んだ後、中間垂木を取り付けます。
 ③自在桁固定金物(端部用)を自在けたに取り付け、あいている穴に合わせ端部垂木にφ4.5の穴をあけ、ねじで固定します。
 ※穴をあける時に、自在けた固定金物(端部用)のタップをこわさないように注意してください。



	関東間	関西間	九州四国間
1間	230	220	272.5
1.5間	157.5	152.5	205
2間	90	85	137.5

※連結の場合A寸法は2倍になります。

●連結の場合

①自在けたの加工

自在けたを右図の通り切断・穴加工してください。



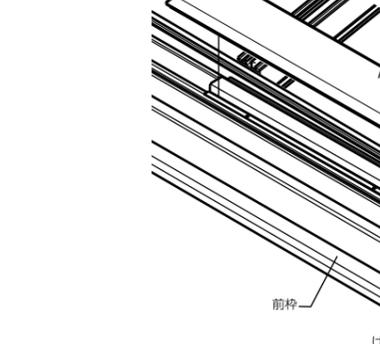
②連結部の組立

自在けた上部の穴のみスリーブにうっし穴φ4.5をあけて、ねじ止めしてください。
 ※連結部の垂木には、両側に自在桁固定金物(端部用)を取り付けてください。
 ※自在桁の移動は300mmまで可能です。

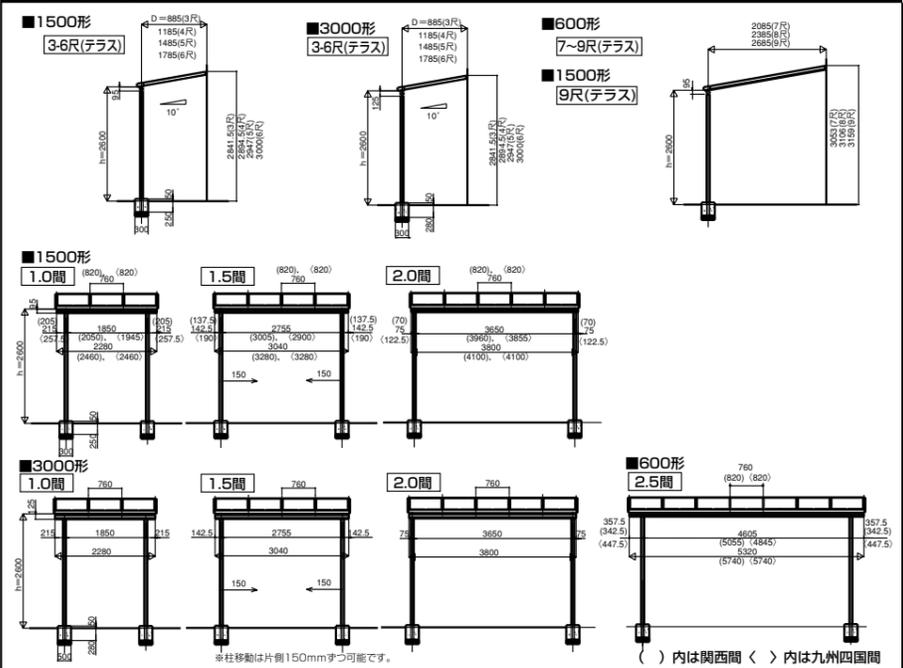


■積雪カバーの取付け(オプション)

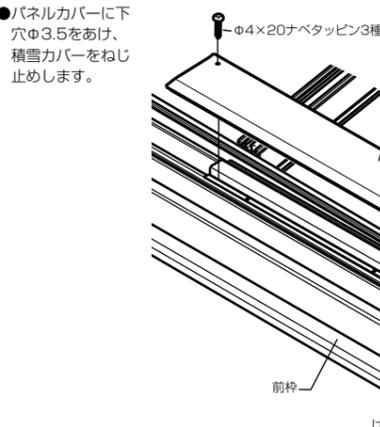
●パネルカバーに下穴φ3.5をあけ、積雪カバーをねじ止めします。



■参考納まり図



■600形7~9尺縦断面図



■1500形、3000形3~6尺縦断面図

